

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無
教育学部	准教授	曾根 裕二		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概 要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)				
大学における授業評価			学生による授業評価では、概ね肯定的な感想を得ている。	
ICT等を活用した授業、実習			授業毎にスライド資料を作成し、視覚的に理解を促す指導を行った。また、実習の記録をWeb上で登録する方法に変え、記録の共有化を図った。	
学外と連携した実習、ボランティア活動の促進			障がい者のスポーツ活動について、地域のクラブチームや大会主催団体と連携し、学生の参加を促すとともに深い学びにつながるような機会を設けた。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
インターンシップC 実習ノート		2017年度から	特別支援学校へのインターンシップ実習を行うに当たって、学生の学びを記録できるノートを作成した	
アダプテッド・スポーツ実習 実習ノート		2017年度から	アダプテッド・スポーツ実習としての指導実践を記録するためのノートを作成した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
国立特別支援教育総合研究所 専門研修 講師		2014年度から	特別支援教育総合研究所の長期専門研修(肢体不自由)に参加する現職の教員を対象に「肢体不自由児・者スポーツの現状と課題」の講師を務めている。	
日本肢体不自由教育研究大会 講師		2018年、2019年	「肢体不自由児の体育・スポーツ」をテーマに実技・演習ならびに講義を担当した。	
高石市立高石小学校 校内研修会 講師		2019年7月	高石市立高石小学校の教員を対象にボッチャの体験とボッチャを方パラリンピック教育の展開についての講義を行った。	
泉佐野市立中央小学校 PTA講演会		2019年11月	「障害者スポーツ、ボッチャを通じた心のバリアフリー」をテーマに、教員へのボッチャの講習、ならびに4～6年生、保護者を対象とした講演を行った。	
出前授業 (2019年度)		2019年9月～2020年2月	品川区立第二延山小学校 (9月)、岸和田市立八木小学校 (9月)	
令和2年度特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会 講師		2020年11月	国立特別支援教育総合研究所主催の協議会において、障害者スポーツに関する講演を行い、小グループに分かれてのグループ協議の助言者を務めた。	
出前授業 (2020年度)		2020年11月～2021年2月	吹田市立竹見台中学校 (11月)、大阪市立横堤小学校 (12月)、熊取町立西小学校 (12月)、大阪市立宮原小学校 (1月)、高槻市立五百住小学校 (2月)、大阪狭山市立南中学校 (2月)	
第60回全国学校体育研究大会愛媛大会 指導助言		2020年11月	愛媛県にて行われた学校体育研究大会において、愛媛県立みなら特別支援学校で行われた公開授業研究会の指導助言を行った。	
第61回全国学校体育研究大会滋賀大会プレ大会 指導助言		2020年12月	滋賀県立野洲養護学校にて行われた学校体育研究大会のプレ大会において、一般参加者への講義と、野洲養護学校の体育授業の取り組みについての指導助言を行った。	
泉佐野市立第二小学校 教員研修		2022年2月	小学校体育でボッチャ競技を教材として取り上げることができるように、教員に対してのボッチャ体験を行った。	
出前授業 (2021年度)		2021年11月～2022年3月	吹田市立竹見台中学校 (11月)、熊取町立西小学校 (11月)、富田林市立小金台小学校 (11月)、泉佐野市立長南中学校 (12月)、大阪狭山市立南中学校 (12月)、和歌山県みなべ町立上南部町学校 (12月)、滋賀県立水口高等学校 (3月)	
ハンドサッカー理解啓発講習会		2022年8月	東京都肢体不自由特別支援学校体育連盟主催の理解啓発講習会において、実際の指導に当たる教員を対象とした講演をオンラインを活用して行った。	
第61回全国学校体育研究大会滋賀大会 指導助言		2022年11月	滋賀県で行われた全国学校体育研究大会において、特別支援学校の分科会の指導助言者として、滋賀県立野洲養護学校にて行われた研究授業に参加した。	
「障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育授業の充実」研究報告会 講演		2022年11月～2月	京都市の委託事業である「障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育授業の充実」において、3回の授業実践の指導講評と、研究報告会における講演を行った。	
出前授業 (2022年度)		2022年11月～2023年2月	泉佐野市立長南中学校 (11月)、大阪狭山市立狭山中学校 (11月)、大阪狭山市立南中学校 (11月)、熊取町立西小学校 (11月)、泉佐野市立長南小学校 (2月)、大阪市立昭和中学校 (3月)	
令和5年度泉南地区小学校長会研修会 講師		2023年6月	大阪府泉南地区の小中学校の校長会において「パラリンピックから学ぶ支援について」をテーマに公演を行った	
京都市教育委員会「総合育成支援教育講座」 講師		2023年6月	京都市の教員を対象とした研修会において「インクルーシブ体育の推進に向けて～アダプテッドと共生社会～」をテーマに講演を行った	

大阪狭山市 キャリア教育夏季全体研修会	2023年7月	大阪狭山市の教員を対象とした研修会で、全体講演「インクルーシブ体育の視点から共生社会を考える～アダプテッド・スポーツを起点として～」と分科会（ポッチャ体験）を担当した
泉佐野市人権教育研修会	2023年8月	泉佐野市の人権教育研修会においてポッチャ体験と講演「すべての子どもが輝く体育授業を目指して～インクルーシブ体育とアダプテッド・スポーツの視点から～」を行った。
出前授業（2023年度）	2023年9月～2024年2月	大阪狭山市立第二小学校（9月）、熊取町立南小学校（11月）、熊取町立東小学校（11月）、熊取町立西小学校（2月）、泉南市立西信達中学校（2月）

4 その他教育活動上特記すべき事項

泉佐野社会福祉協議会主催「ポッチャ教室」講師	2011年から	泉佐野市社会福祉協議会主催の「ポッチャ教室」において講師として協力している
子ども運動教室 運営	2012年から	第六体育館で実施している「子ども運動教室」のスタッフとして子ども達の指導を行う学生へのアドバイス等を行っている。
地域の小・中学校への出前授業	2013年から	地域の小・中学校において「アダプテッド・スポーツ」に関する出前授業を行っている。毎年5校程度の依頼がある。
わくわくアダプテッド・スポーツクラブ 運営	2016年から	大学の特別プロジェクト事業の一つである特別支援学校に通う子供たちを対象とした運動教室の運営と学生スタッフへの指導を行っている。
大阪府中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 講師	2017年度から	日本障がい者スポーツ協会が認定する中級障がい者スポーツ指導員資格取得のための大阪府の講習会において「発育・発達」の講座を講師として担当した。
玉川大学 教育学部 健康教育研究センター主催 スポーツと教育 2019-パラリンピックの楽しみ方ー シンポジスト	2020年1月	玉川大学教育学部健康教育研究センター主催のシンポジウムに参加し、ポッチャ競技の魅力について話題提供とパネルディスカッションを行った。
令和3年度大阪障がい者スポーツ指導者協議会 研修会 講師	2022年3月	障がい者スポーツ指導員を対象とした研修会において、東京2020パラリンピック競技大会の帯同報告と指導員として活躍するための心得について講演を行った。
福祉レクリエーション・ネットワーク大阪 主催セミナー 講師	2023年2月	「スポーツを通じた共生社会の実現に向かう視点と起点～アダプテッド・スポーツをキーワードとして～」をテーマに福祉レクリエーションの指導者を対象とした実技と講義形式のセミナーを行った。
茨木市生涯スポーツ指導者養成講習会 講師	2023年2月	茨木市のスポーツ推進委員や市民を対象に「共生社会実現のためにパラスポーツが果たす役割～東京2020パラリンピックから見えてきたもの～」をテーマに講演を行った。

II 研究活動

著書（単著）

書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月

著書（共著・分担執筆）

題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
重度脳性麻痺を有する人々のアダプテッド・スポーツ／イラスト アダプテッド・スポーツ概論	曾根裕二 ／植木章三・曾根裕二・高戸仁郎	51頁～64頁	東京教学社	東京	2017年4月
知的障がい者とアダプテッド・スポーツ／イラスト アダプテッド・スポーツ概論	曾根裕二 ／植木章三・曾根裕二・高戸仁郎	89頁～100頁	東京教学社	東京	2017年4月
特別支援教育における体育の授業づくり／教員免許状更新講習テキスト2019	曾根裕二 ／浅井正仁、石川昌紀、伊原久美子、植木章三、他10名	47頁～60頁	大阪体育大学 教職支援センター	大阪	2019年12月
アダプテッド・スポーツ／教員免許状更新講習テキスト2019	植木章三・曾根裕二 ／浅井正仁、石川昌紀、伊原久美子、他10名	109頁～122頁	大阪体育大学 教職支援センター	大阪	2019年12月
第3章 肢体不自由児の教育課程・指導法、2指導法、「5運動・体育」／特別支援教育免許シリーズ 肢体不自由教育領域 運動機能の困難への対応	曾根裕二 ／櫻木暢子、笠井新一郎、花井丈夫 他	109頁～112頁	建帛社	東京	2021年5月
第4章 重複障害児者の生涯発達支援 1 重複障害児者の自立支援 「3 重複障害児者の自立支援の実践」／特別支援教育免許シリーズ 重複障害教育領域① 複数の困難への対応	曾根裕二 ／櫻木暢子、金森克浩、船橋篤彦 他	109頁～113頁	建帛社	東京	2023年3月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月

地域在住高齢者における歩行時の身体動揺に関連する要因について	竹内亮、植木章三、上出直人、高戸仁郎、金子勝司、陳洋明、曾根裕二、安田友紀、萩野浩明、小川晃子、芳賀博	大阪体育大学教育学研究	2	1頁～12頁	2018年4月	
小学生を対象としたパラリンピック教育の可能性に関する検討～リパースエデュケーション効果に着目して～	曾根裕二	大阪体育大学教育学研究	4	1頁～12頁	2020年3月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他(「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
資料論文	障害児を対象としたスポーツクラブの提案(第二報)～保護者に対するアンケート調査より～	共 曾根裕二、植木章三、金子勝司、竹内亮、安田友紀、陳洋明、平沼源志、後上鐵夫	大阪体育大学教育学研究	2	37頁～45頁	2018年4月
実践報告	大阪体育大学教育学部平成29年度野外活動実習報告	共 金子勝司、植木章三、竹内亮、曾根裕二、陳洋明	大阪体育大学教育学研究	2	73頁～87頁	2018年4月
雑報	2017年度アダプテッド・スポーツ	単 曾根裕二	大阪体育大学教育学研究	2	93頁～95頁	2018年4月
雑報	第1回障がい者スポーツ関係学会合同コンgresに参加して	単 曾根裕二	アダプテッド・スポーツ科学	16	47頁～49頁	2018年7月
資料論文	大学クラブ活動生における「1次救命処置」及び「緊急時対応計画」の学習経験に関する調査	共 有吉晃平、藤井均、川島康弘、中山健、曾根裕二、陳洋明	大阪体育大学紀要	50	103頁～111頁	2019年3月
資料論文	肢体不自由特別支援学校の体育的行事における実施種目に関する	共 曾根裕二、田中将	大阪体育大学教育学研究	4	91頁～96頁	2020年3月
報告	第20回日本アダプテッド体育・スポーツ学会報告	単 曾根裕二	アダプテッド・スポーツ科学	19	47頁～50頁	2021年7月
資料論文	障害児を対象とした運動教室の成果と課題～COVID-19禍におけるオンラインを活用した実践に関する事例的検討～	共 曾根裕二、金子勝司、植木章三	大阪体育大学教育学研究	6	17頁～26頁	2022年3月
報告	東京2020パラリンピック競技大会に基いて～ボッチャ競技	単 曾根裕二	アダプテッド・スポーツ科学	20	133頁～136頁	2022年7月
実践報告	全国ボッチャ選抜甲子園大会～継続できる活動、目標となる大	単 曾根裕二	手足の不自由な子どもたち けいみ	407	21頁～26頁	2022年12月
学会発表(「国際学会」、「国内学会(一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内(シンポ)	2018年9月	日本特殊教育学会第56回大会	自主シンポジウム(指定討論) 障害のある児童生徒にとって“望ましい”体育授業とは?	大阪国際会議場	司会者:加藤彩乃、話題提供者:村上祐介・内田匡輔・吉岡尚美、指定討論者:曾根裕二	
国内(一般演題)	2018年11月	日本学校保健学会 第65回学術大会	大学クラブ活動生における1次救命処置に関する学習状況と「緊急時対応計画」教育の必要性	ホルトホール大分	有吉晃平、藤井均、川島康弘、曾根裕二、陳洋明	
国内(一般演題)	2019年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第24回大会	肢体不自由特別支援学校の体育的行事における実施種目に関する事例的研究	大阪体育大学	曾根裕二	
研究会	2020年12月	大阪府公立小・中学校生活指導研究協議会 第59回 中央研究発表大会	パラスポーツ選手に学ぶスピリッツ～今を乗り越える力とは～	書面開催	曾根裕二	
国内(一般演題)	2020年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第25回大会	地域の学校体育におけるアダプテッド体育・スポーツの観点の定着を目的とした研修プログラムの検討 I	オンライン開催	澤江幸則、齊藤まゆみ、松原豊、杉山文乃、香田泰子、曾根裕二、今城遥	
国内(一般演題)	2022年8月	日本体育・スポーツ・健康学会 第72回大会	アダプテッド体育・スポーツの観点の定着に向けた小学校の校内	順天堂大学	村上祐介、曾根裕二、安藤佳代子、萩原大河、小沼博義、松原豊、澤江幸則	
国内(一般演題)	2022年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第27回大会	肢体不自由児が参加する全国規模のスポーツ大会の事例報告～ボッチャ選抜甲子園大会の試み～	同志社大学	曾根裕二、村上光輝、矢作公佑	
国内(一般演題)	2023年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第28回大会	全国ボッチャ選抜甲子園大会リモート予選会の成果と課題	日本福祉大学	曾根裕二、村上光輝、矢作公佑	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)	
科学研究費	基盤研究C	重度脳性麻痺ボッチャ選手の競技力向上のためのトレーニングプログラムの開発	分担	2016年度から2019年度		

科学研究費	基盤研究C	ボッチャ選手における呼吸筋トレーニングを活用した強化プログラムの開発	分担	2017年度から2019年度	
その他の助成金	公益財団法人 公益推進協会 2018年 For Children 基金	小児がんで入院している子どもたちの体力保持に関する運動教室	代表	2018年度	625,000円
その他の助成金	公益財団法人 大和証券福祉財団 平成30年度（第25回）ボランティア活動助成	大阪体育大学社会貢献センター からだ動かし隊	代表	2019年	277,000円
その他の助成金	住友生命健康財団 2020年度 スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム 【チャレンジコース】	障がい児の豊かなスポーツライフを実現するためのスポーツ環境の提供事業	代表	2020年度	500,000円
その他の助成金	公益財団法人 G-7奨学財団 スポーツ活動助成事業	スポーツを通じた共生社会の実現に向けての挑戦的取り組み	代表	2023年1月1日～12月31日	4,000,000円

特許

特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
2013年1月～	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 理事、事務局長
2017年4月～	日本体育学会 アダプテッド・スポーツ科学専門領域 評議員
社会的活動	
2019年7月～	日本パラリンピック委員会 医・科学・情報サポート推進事業 サポートスタッフ
2012年1月～	大阪府障がい者スポーツ大会 実行委員
2014年4月～	堺市立健康福祉プラザ スポーツセンター運営委員
2014年4月～	堺市障害者スポーツ大会 運営委員
2014年～	ボッチャ日本代表 国際大会帯同（アジアパラゲームス、アジアオセアニア選手権、ワールドオープン、アジアユースパラゲームス）
2017年	全国障害者スポーツ大会 堺市選手団選考委員会委員長
2017年～	日本ボッチャ協会 競技局

Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
特別プロジェクト活動	
2016年4月～2021年3月	特別支援学校生徒のアダプテッド・スポーツ実践の場の提供とその効果

Ⅴ クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	アダプテッド・スポーツ 部	2. 役職	2012年～ 部長、監督	3. 部員数	30 人
4. 現場指導の頻度	③ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	1 回	延べ日数：	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
	文部科学大臣杯 日本車椅子ハンドボール競技大会	11月			
	大阪車いすハンドボール大会	11月	ファインプラザ大阪		
	ボッチャ学生選手権大会 西日本大会	12月			
10. クラブ戦績 （全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）					
開催期間	大会名	成績	場 所		
2019年1月14日（月）	平成30年度スポーツ庁委託事業 全国横断パラスポーツ運動会 近畿ブロック	優勝	関西学院大学		
2019年11月9日（土）10日（日）	文部科学大臣杯 第17回日本車椅子ハンドボール競技大会	優勝	大塚スポーツパーク アミノパリエールホール		

2019年11月24日（日）	第三回ボッチャ大学選手権西日本大会	第3位	大阪府立大学羽曳野キャンパス
2021年11月20日（土）	ボッチャ大学選手権西日本大会	第2位	いきいきランド交野
2022年1月9日（日）	第23回日本ボッチャ選手権大会	BC4クラス優勝（内田峻介）	スカイホール豊田
2022年9月18日（日）	文部科学大臣杯 第20回日本車椅子ハンドボール競技大会	優勝	宮城県仙台市 宮城野体育館
2022年11月19日（土）	ボッチャ大学選手権西日本大会	第2位	奈良学園大学
2022年12月5日（月）～13日（火）	Rio de Janeiro 2022 World Boccia Championships	BC4男子 個人戦優勝（内田峻介） BC4ペア 第4位（内田峻介）	ブラジル、リオデジャネイロ
2023年1月8日（土）～1月9日（日）	第23回日本ボッチャ選手権大会	BC4クラス優勝（内田峻介）	スカイホール豊田

VI 賞罰（職務に関する賞罰）

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考
2021年12月	令和3年度 「障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰	2016年より取り組んでいる、大学の人的物的資源を利用して取り組んでいる地域の障がい児・者の生涯スポーツの基盤づくりのための活動が認められた。	